



作品タイトル

2126年の淡路に行ってきました。



作者

カナタニ ヨシヒサ 漫画

形式

●作者について

≫自己紹介

さすがにこの年でマンガ家にはなれないよなと（実力ではなく）年齢のせいにしてあきらめつつ、でも何とかマンガ家になれないものかなとかいろいろ考えながら、マンガを描き続けている哀しい中年サラリーマンです。何かマンガを描ける仕事があったら紹介ください…（涙）

≫応募のきっかけ

たまたま公募サイトで見つけた5年前（第2回大会）から毎年応募していて、最初は淡路島日本遺産に関する知識もなくマンガで表現するのはムリと思ったのですが、いろいろ調べていくうちに楽しく描けるようになりました！今では毎年応募するのが恒例行事になっています。

●作品について

≫作品の解説

発明家の祖父とタイムマシンで100年後の淡路島へ出かけた男の子が、空から島の名所を巡るほのぼの4コマ漫画です。淡路が日本の首都になっていたり、いろいろ新しいモノが出現する中で、ずっと変わらないモノもあったり…楽しく明るい未来を描きました。

≫思い・受賞コメント

子供の頃にソロバンや習字で級が上がったときに賞状をもらうことはありましたが、大人になってから表彰を受けるような機会はめったになく、人に評価してもらえるということはすごく嬉しいことだなあとつくづく心に沁みました…本当にありがとうございます。

≫審査員コメント



里中先生

100年後の淡路島を「万博化」という大胆な発想で描き出す、55歳ならではの豊かな構想力と熟練の描写力に圧倒されました。夢物語に留まらないリアリティと情熱が溢れており、このワクワクする未来をぜひ実現してほしいと強く願わずにはられません。



中村先生

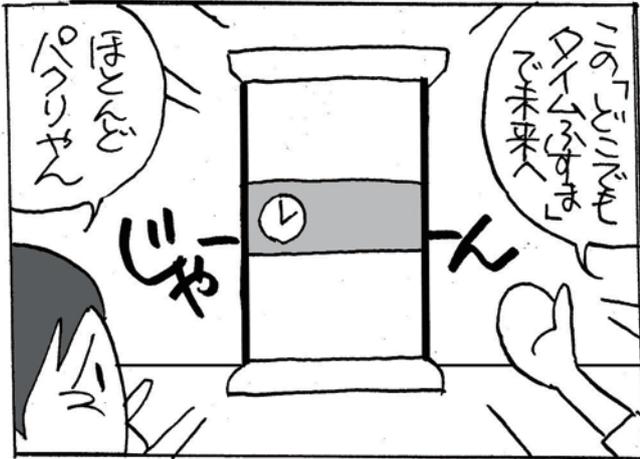
きっと何度もアイデアを練り直したと思わせる。完成度レベルが高い。



吉村先生

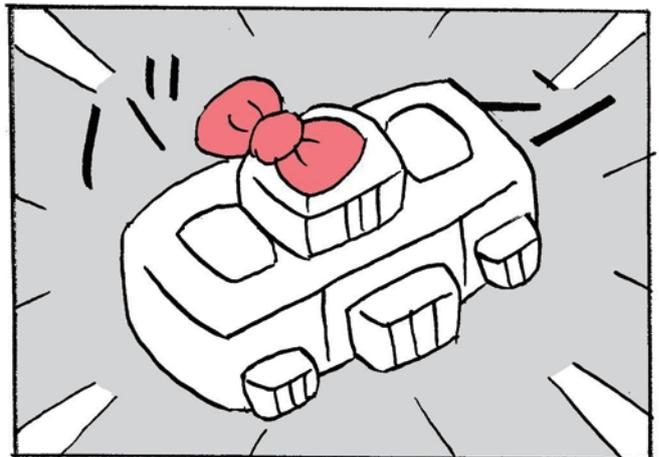
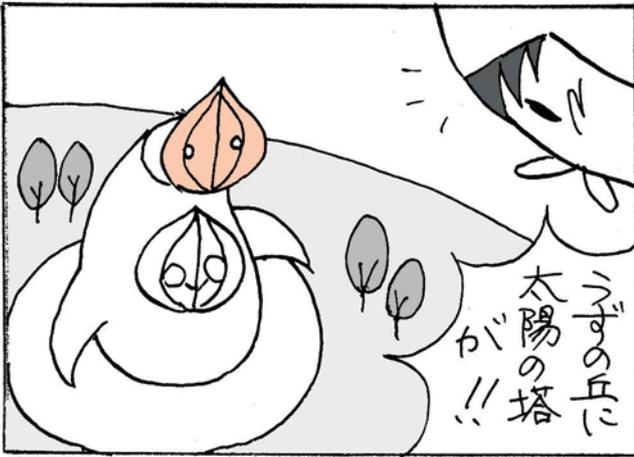
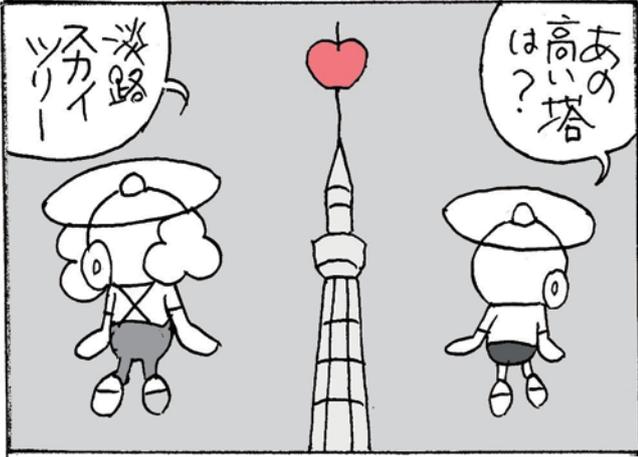
持ち味のキャラとギャグが絶妙な形でテーマと合致。これなら淡路島の未来は明るい！？

シークレットツール

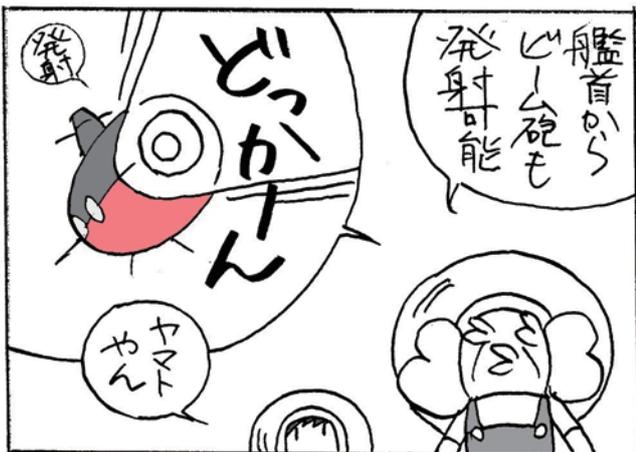
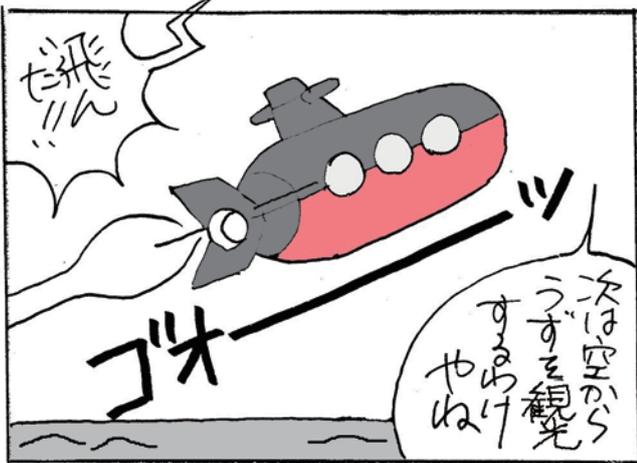
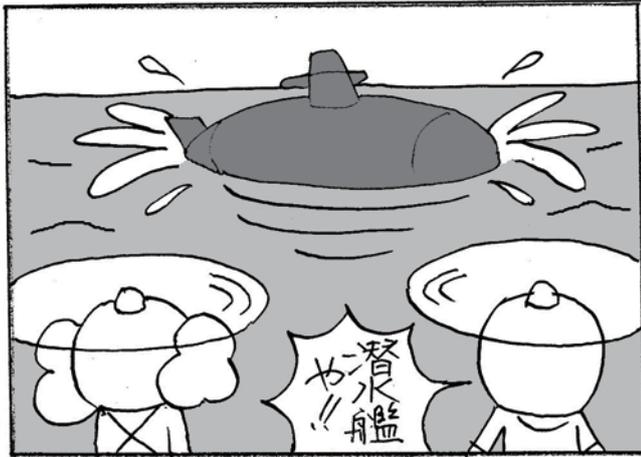


新名所

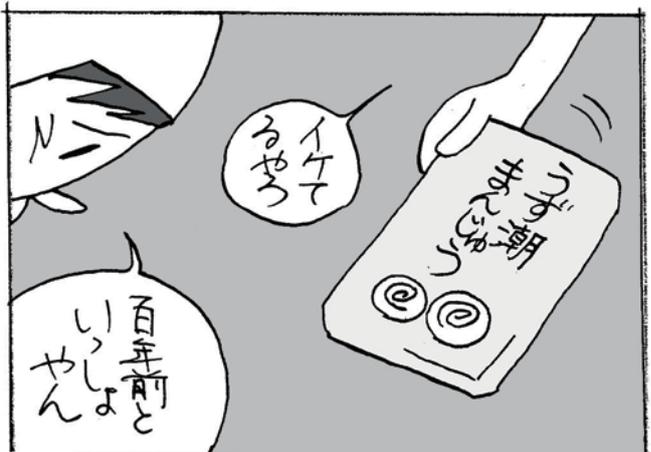
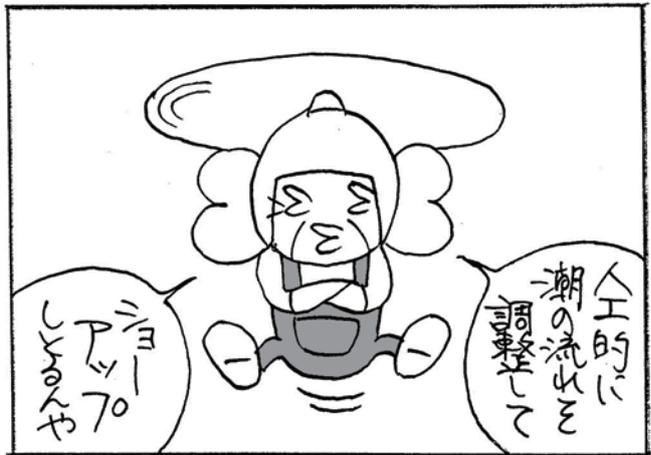
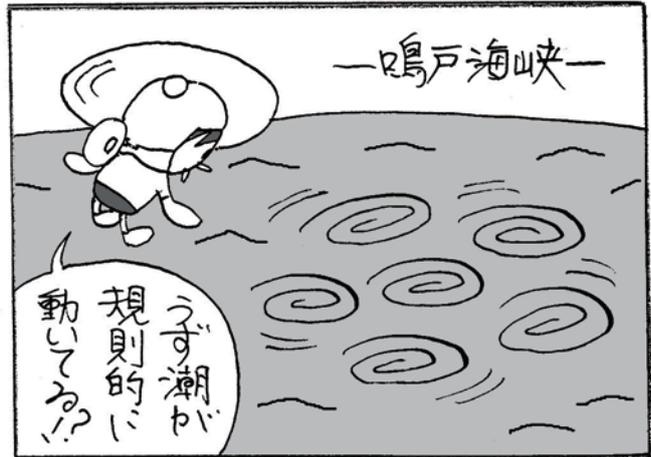
新首都



うず潮 ②

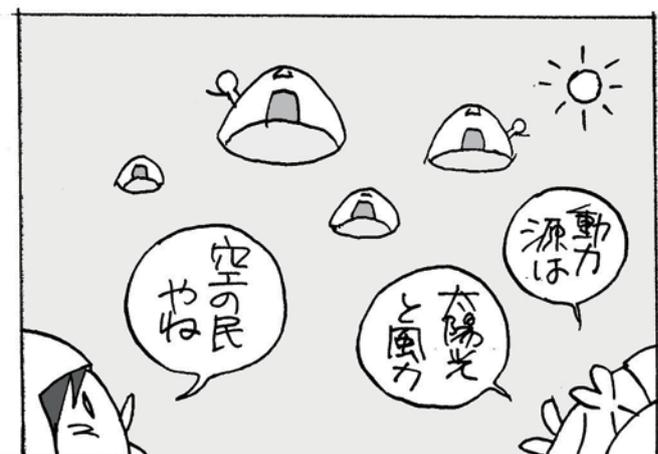
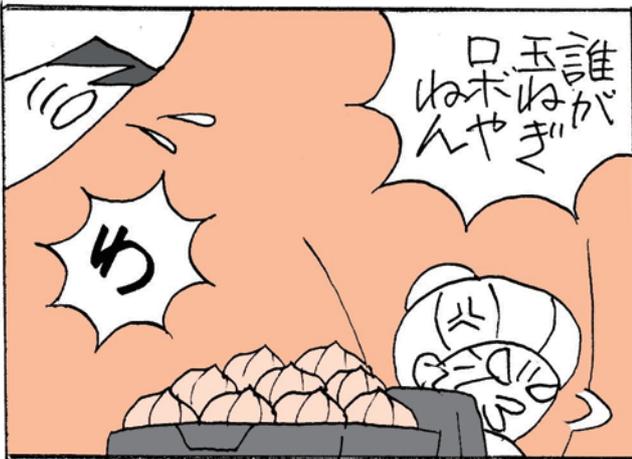
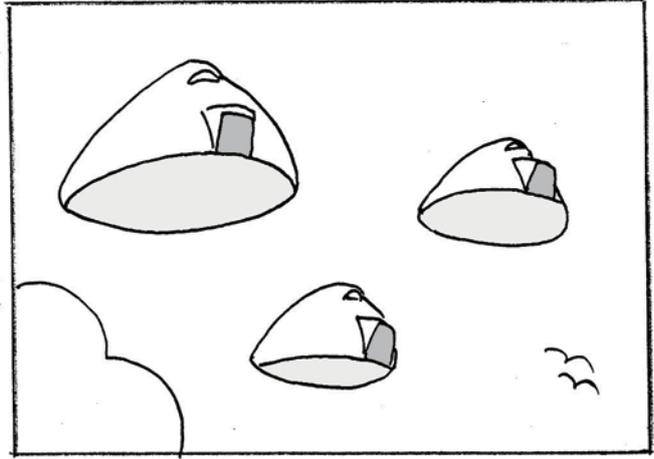
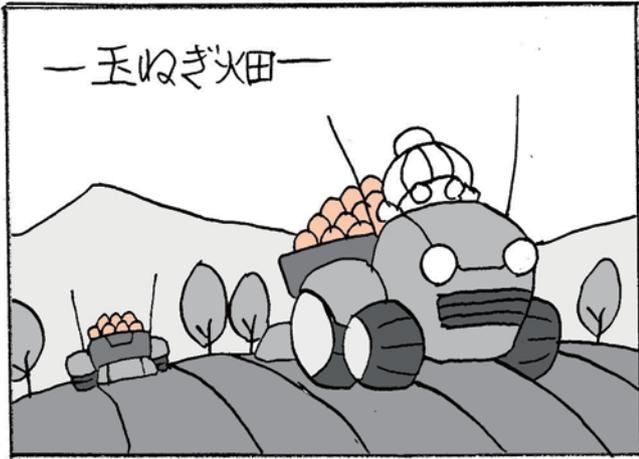


うず潮 ①

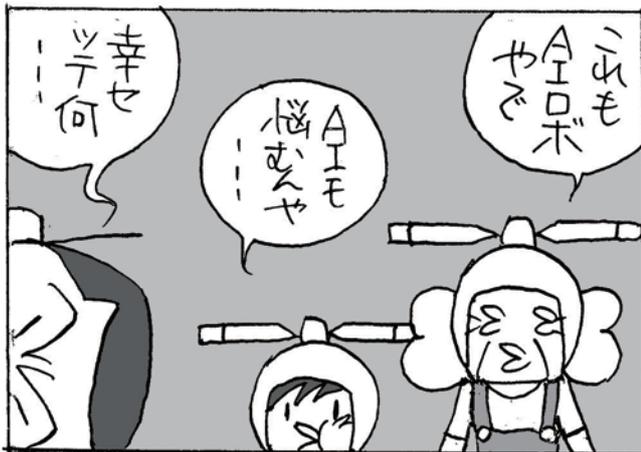
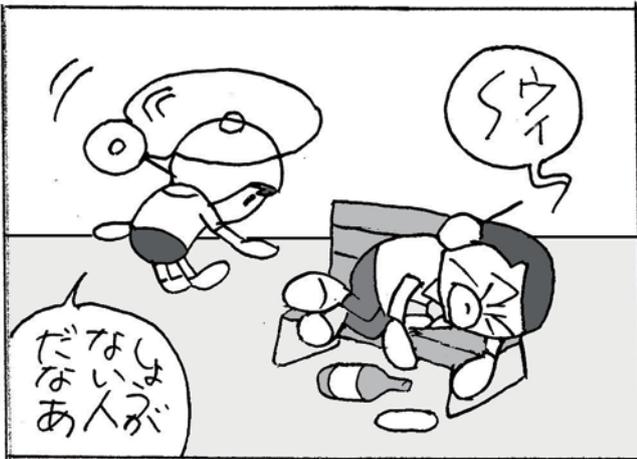
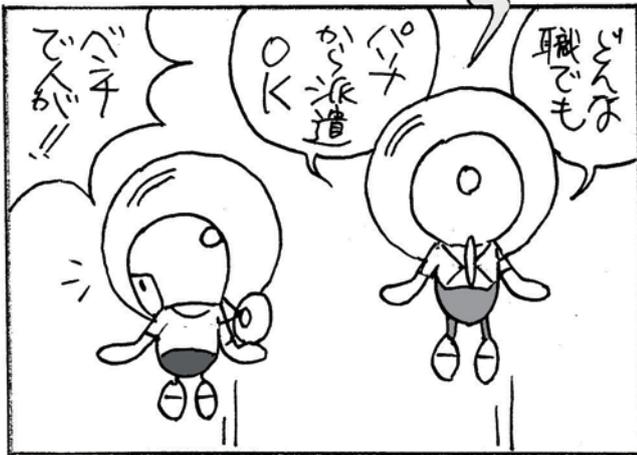


玉ねぎ畑

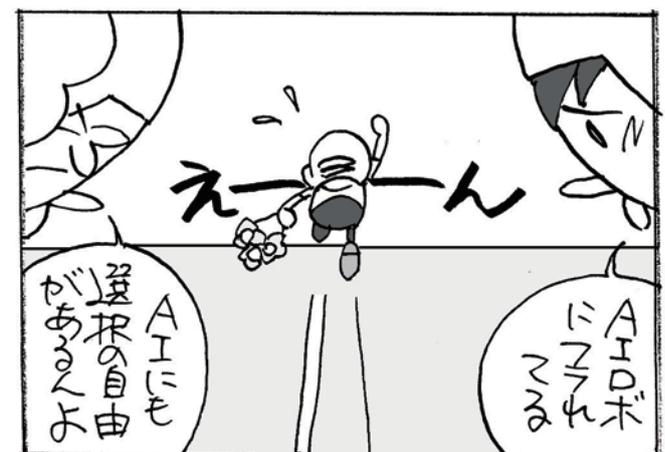
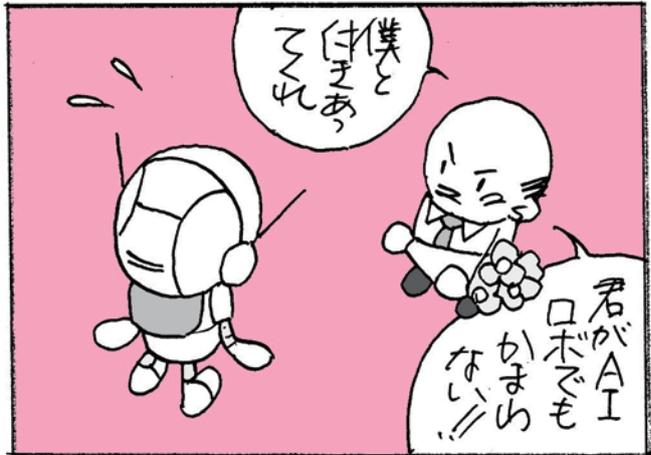
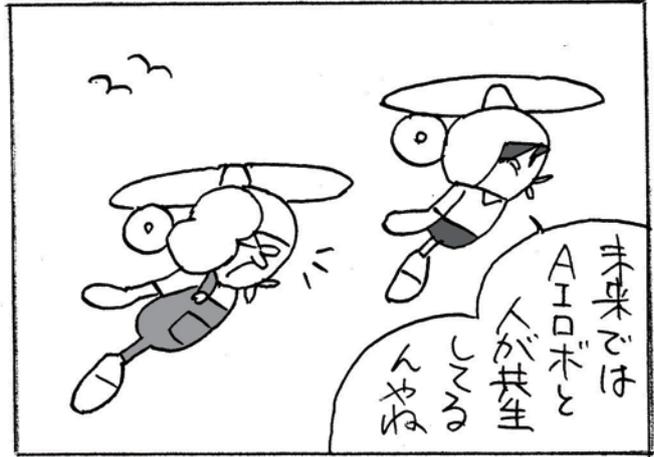
空飛ぶ家



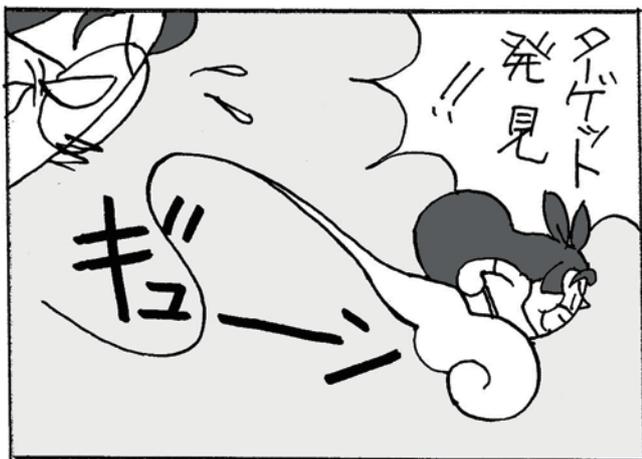
共存②



共存①



神 様



くにうみマンガワールドカップ

人形浄瑠璃

